クリニカルパス通信

クリニカルパス

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

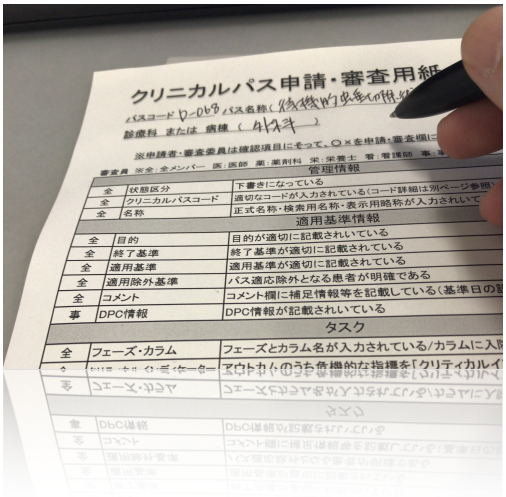
日本クリニカルパス学会によると**「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」**と定義されてます。

パスのメリットは？

病院・医療従事者のメリットは、医療が標準化される、チーム医療が推進される、教育ツールとして仕様できる、病院経営も改善されるなどが言われています。患者・家族にとっては入院中の経過や治療内容がわかりやすく安心感して入院生活を送ることができることなどがあります。

パス事前審査開始！

前回の委員会から「クリニカルパス申請・審査用紙」の運用を開始しました。事前にパス審査委員（医師1名、看護師1名、薬剤師1名、栄養管理課1名、担当事務2名）が審査を行ったうえで、委員会で検討するという方式となりました。以前は委員会当日に全員で審査していたため、なかなか細かい点の指摘などは難しい現状がありましたが、この方式にすることで審査の効率の改善を期待したいと考えております。提出期限は委員会（毎月第二金曜日）の1週間前です。



ホームページのご案内

八幡病院ホームページ(http://www.yahatahp.jp/)には「クリニカルパスの部屋」というページを設けており、現在使用中のパス一覧ならびに患者パスを公開しています。ぜひご覧ください。

現在運用中のパスは96個

内科	2
循環器内科	1
外科・呼吸器外科	63
形成外科	13
眼科	4
整形外科	2
脳神経外科	2
泌尿器科	2
小児科	2
看護科	5

新規パス紹介

5月12日と6月16日のパス委員会にて新しく6個のパスが承認されました！

1. 経肛門的直腸脱手術（外科・呼吸器外科）

   三輪-Gant Thiersch法で使用します

2. 経腹的直腸脱手術（外科・呼吸器外科）

   主に腹腔鏡下直腸吊り上げ術が対象です

3. 軽症急性虫垂炎保存療法（外科・呼吸器外科）

   軽い虫垂炎に対して保存療法を行う場合に使用します

4. 蜂窩織炎（外科・呼吸器外科）

   四肢の蜂窩織炎に対する入院治療に使用します

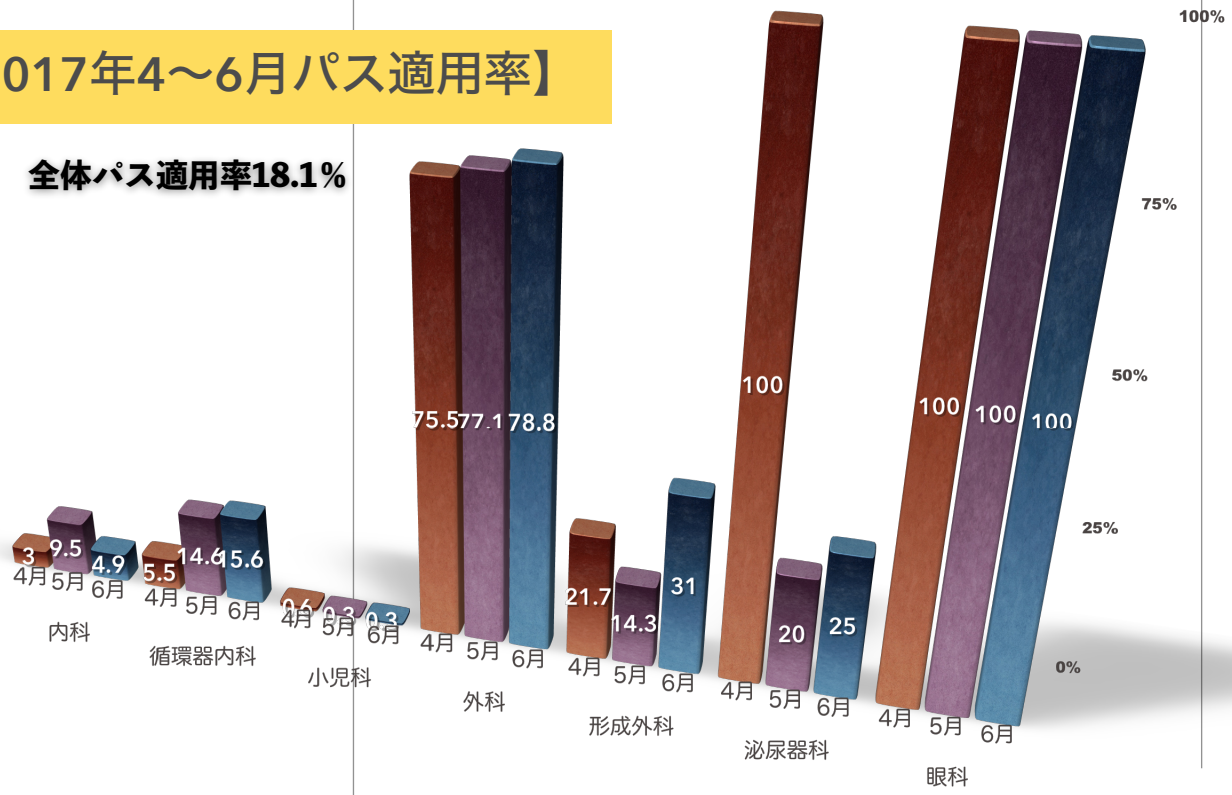
5. 膵頭十二指腸切除（外科・呼吸器外科）

   膵頭部腫瘍に対する手術で使用します

6. 軽症急性胆管炎（外科・呼吸器外科）

   胆道系の術後に軽い胆管炎を繰り返す患者さんに適用します

【2017年4～6月パス適用率】



発行　市立八幡病院　クリニカルパス委員会